

2023年11月15日

会員各位

日本農業経済学会
会長 浅見 淳之

2024年度日本農業経済学会大会（学会創立100周年記念大会）のお知らせ （共催：東北大学大学院農学研究科）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。2024年度日本農業経済学会大会は東北大学（宮城県仙台市）を会場として、対面形式で開催します。本大会は、学会創立100周年記念大会となります。多数のご参加をお待ちしております。

[1] 日程および会場

2024年3月30日（土）東北大学・青葉山キャンパス 青葉山コモンズ及び環境科学研究科棟
3月31日（日）東北大学・青葉山キャンパス 青葉山コモンズ
〒980-8572 仙台市青葉区荒巻青葉468-1（最寄り駅：地下鉄東西線・青葉山駅）

<大会受付>

3月30日（土）	東北大学・青葉山キャンパス	青葉山コモンズ	8:00～
31日（日）	東北大学・青葉山キャンパス	青葉山コモンズ	8:00～

<大会スケジュール>

3月30日（土）	東北大学・青葉山キャンパス	青葉山コモンズ及び環境科学研究科棟	
開会・挨拶			8:30 ～ 8:40
会長講演			8:40 ～ 9:10
100周年記念講演			9:10 ～ 10:20
特別シンポジウム（午前）			10:50 ～ 12:30
特別シンポジウム（午後）			13:30 ～ 15:10
総合討論			15:30 ～ 16:50
総会・学会賞表彰			17:10 ～ 17:40
懇親会	青葉山キャンパス	青葉山コモンズ	18:00 ～ 19:30
3月31日（日）	東北大学・青葉山キャンパス	青葉山コモンズ	
個別口頭報告・特別セッション			9:00 ～ 16:00
個別ポスター報告 [一般閲覧者への説明・対応]			9:00 ～ 15:30
個別ポスター報告 [賞選考委員への報告・質疑応答]			11:00 ～ 12:30
ポスター賞授与式			16:00 ～ 16:10

[2] 参加登録・参加費

本大会への参加は、原則的に大会特設サイトを通じた事前登録制とします。参加申込の開始は、2024年1月上旬を予定しています。詳細は学会HPを通じてお知らせします。参加費等は下記の通りです。

大会参加費：4,000円（学生会員3,000円）／懇親会費：6,000円（学生会員3,000円）

[3] 大会に関する問い合わせ

「日本農業経済学会事務局」 担当：齋藤・諏訪

〒104-0033 東京都中央区新川2-22-4 新共立ビル2F 株式会社 共立（内）

電話：03-3551-9896 Fax：03-3553-2047 E-mail: office@aesjapan.sakura.ne.jp

学会HP: <https://www.aesjapan.or.jp/>

[4] 100周年記念講演 (3月30日(土) 青葉山コモンズ)

謙虚な社会科学「農業経済学」とともに半世紀

生源寺 眞一 (日本農業研究所)

農業の未来と日本の農業経済学

小山 修 (国際農林水産業研究センター)

[5] 特別シンポジウム (3月30日(土) 青葉山コモンズ及び環境科学研究科棟)

1. 全体テーマ

「農業経済学のこれからのミッション」

座長：伊藤 房雄 (東北大学)・東山 寛 (北海道大学)

コメンテーター：中嶋 康博 (東京大学)

2. 特別シンポジウムⅠ (午前：10:50～12:30) ※Ⅰ・Ⅱはパラレルに開催します

テーマ「国際的潮流から農業経済学のミッションを考える—持続可能な社会へのトランジションにむけて—」

座長：関根 佳恵 (愛知学院大学)・中野 優子 (筑波大学)

コメンテーター：黒崎 卓 (一橋大学)

第1報告 フードセキュリティの国際的潮流から学ぶ—顕在化するリスク・不確実性—

小泉 達治 (農林水産政策研究所)

第2報告 環境・気候変動分野の国際的潮流から学ぶ—農業・農村の持続可能性とエネルギー問題—

重藤 さわ子 (事業構想大学院大学)

第3報告 開発分野の国際的潮流から学ぶ—実験手法の発展と課題—

高篠 仁奈 (立命館大学)

3. 特別シンポジウムⅡ (午前：10:50～12:30) ※Ⅰ・Ⅱはパラレルに開催します

テーマ「政策研究のあり方を考える」

座長：小嶋 大造 (東京大学)

コメンテーター：萩原 英樹 (農林水産省)

第1報告 政策研究のサーチデザイン—定性的な実証研究の意義と方法を中心に—

作山 巧 (明治大学)

第2報告 農業政策に関するエビデンスの供給と需要

川崎 賢太郎 (東京大学)

第3報告 諸外国の農業政策研究機関における研究課題と新たな研究手法の展開

佐々木 宏樹 (農林水産政策研究所)

第4報告 「日本農業を動かすもの」と農業政策—米政策を中心として—

西川 邦夫 (茨城大学)

4. 特別シンポジウムⅢ (午後：13:30～15:10) ※Ⅲ・Ⅳはパラレルに開催します

テーマ「歴史から農業経済学を照射し未来を展望する」

座長：伊藤 淳史 (京都大学)

コメンテーター：野本 京子 (東京外国語大学)

第1報告 「みどりの食料システム」と農業経済学／農業史のミッション

小島 庸平 (東京大学)

第2報告 農業経済学のポテンシャル—歴史から考える—

藤原 辰史 (京都大学)

第3報告 花卉の栽培と消費の近現代史—社会と家族の変容に関する一考察—

湯澤 規子 (法政大学)

5. 特別シンポジウムⅣ（午後：13:30～15:10）※Ⅲ・Ⅳはパラレルに開催します

テーマ「農業経済学教育のこれからを考える」

座長：清原 昭子（福山市立大学）・氏家清和（筑波大学）

コメンテーター：松田 敏信（鳥取大学）・中塚 雅也（神戸大学）

第1報告 新しい食・農学分野における農業経済学の役割

小山 良太（福島大学）

第2報告 大学の国際化に向けた農業経済学教育

川島 滋和（宮城大学）

第3報告 農業経済学に求められる統計リテラシー

中谷 朋昭（東京大学）

6. 全体テーマの趣旨

日本農業経済学会は1924年に創設され、2024年に100周年を迎える。

これまでの記念大会では、例えば、70周年記念大会では、「農業経済学会発足のころ」と題する近藤康雄先生の記念講演とともに「日本農業・農政の将来展望」と題する大会テーマのもとで討論が行われ、また90周年記念大会では、「比較農業論のすすめ」と題する原洋之介先生の記念講演のほか「農業経済学の分析力：日本農業の品質競争力を問う」と題する大会テーマのもとで討論が行われるとともに「創立90周年を迎えて存亡の岐路に立つ日本農業経済学会」と題する特別シンポジウムが開催された。

100周年記念大会では、これらの過去の記念大会の成果を踏まえつつ、とりわけ今後の日本農業経済学会を担う若手・中堅研究者たちが、農業経済学が果たしてきた役割、あるいは果たしている役割、そして今後求められる役割について確認し、議論に参画できるようなテーマとして、「農業経済学のこれからのミッション」を掲げることにした。この大会テーマのもとで、①国際、②政策、③歴史、④教育の観点から、4つの特別シンポジウムを設定し、「農業経済学のこれからのミッション」を念頭におきながら議論をしていた。そして、総合討論において、各特別シンポジウムで導き出された農業経済学のミッションなどの内容を会員全体で共有することによって、今後の日本農業経済学会の展望やビジョンを会員全体で確認することとしたい。

[6] 個別報告等（3月31日（日）青葉山 commons）

本大会では、①個別報告（口頭報告）、②個別報告（ポスター報告）、③特別セッションをそれぞれ募集します（特別セッションは、研究グループによる共通テーマの下、複数の研究報告と討論、および会場参加者との質疑を行う研究発表の場です）。ただし、筆頭での報告は、①②③をあわせて1報告に限られます。

学会HPに申込要領等を掲載しているのでご覧ください（URLは下記）。受付期間は12月1日（金）から12月15日（金）17:00までとします。積極的な申込をお願いいたします。

<https://www.aesjapan.or.jp/meeting/148094>

[7] 大会期間中の保育室設置について

1歳児以上を対象とした保育室の設置を予定しています。利用を希望される方は、[3]に記載した学会事務局宛に、利用希望日・時間帯・利用人員・年齢について、2024年1月下旬までにご連絡ください。利用希望の状況がまとまった段階で、学会事務局より設置や費用負担について相談させていただきます。

[8] 今後のスケジュール

1. 個別報告・特別セッションの申し込み：2023年12月1日（金）～12月15日（金）17:00

2. 大会特設サイトの開設・参加申込の開始：2024年1月上旬（予定）

3. 個別報告等のプログラム公開：2024年2月中旬（予定）

4. 報告論文（和文誌）及びResearch Letters（英文誌）の投稿要領掲載：2024年3月31日（予定）

※投稿期間は報告論文：4月1日～5月6日、Research Letters：5月1日～6月1日を予定しています。

以上

◆会場へのアクセス

注：駐車場は用意しておりませんので、お車での来場はご遠慮ください



地下鉄「仙台駅」から地下鉄東西線「八木山動物公園行」に乗車9分
 地下鉄「青葉山駅」下車、南1出口より徒歩約10分



◆キャンパスマップ

